

大池公園整備計画

概要版

発行者／矢吹町

(お問い合わせ先)

矢吹町 都市整備課

〒969-0236 福島県西白河郡矢吹町一本木 101

電話：0248-42-1111 (代表)

0248-42-2116 (都市整備課 直通)

■計画の目的

大池公園は、当町の観光拠点にも位置づけられていることから、より大池の潜在的な価値を活かした公園づくりが期待される。そのため、ニーズ変化や新利用者に対応できる公園のリニューアルを図る。

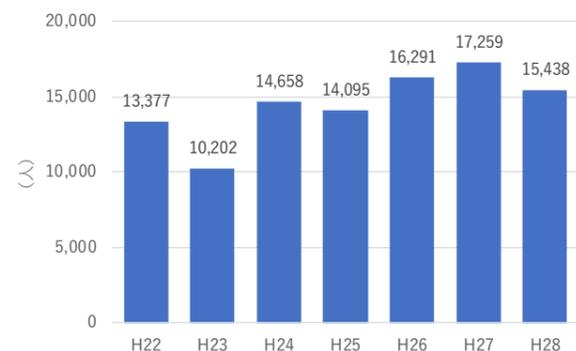
本計画の目的は、さまざまな意見、専門的知見を把握、分析、整理をし、統一感を持った整備、環境保全や魅力増進に資する整備計画を策定する。

■大池公園の現状

大池と町木のアカマツの生い茂る自然空間を活かした供用面積は19.40haの総合公園。大賀ハス（別名2千年ハス）が日本庭園で鑑賞できる



大賀ハスが見られる



大池公園の観光客入込数の推移

■アンケート調査

平成29年10月9日（休日）と10月17日（平日）回答者数は休日65名、平日61名のアンケート結果。

○年齢／50歳代：14名、60歳代：49名、70歳代以上：28名と高齢者の割合が高い。

○居住地／矢吹町内：85名、矢吹町外：41名と町外者利用も多い。

○来園頻度／月1回程度：22名、2回程度：12名、4回程度：15名、5回以上：74名とリピーターが多い。

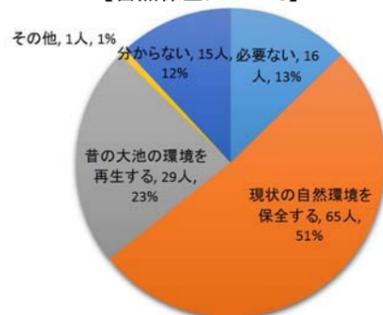
○滞在時間／滞在時間は30分～1時間30分が82%

○施設の満足度／松林が64名と最も多く、次いで日本庭園：48名、植栽：42名、ちびっこ広場：38名。

○公園に必要だと思う機能／自然保全や再生に70%以上が望んでおり、やすら

ぐ環境への期待が高い。その他では、遊び機能に35%、休憩や観賞など静的活動に25%と滞在環境の充実に期待している。

○改善点の希望／トイレ15.1%、展望台9.5%、散策路8.7%、キャンプ場6.3%、ちびっこ広場5.6%がベスト5の改善希望がある。



公園の自然への愛着が高い

■ワークショップ

大池公園のあり方について地域の意向を把握するために、ワークショップを2回開催。



◆1回目現況評価ワークショップ

○良い評価点：アカマツやチョウトンボが生息する自然。池辺からの水景景観。散策やジョギングで利用しやすい遊歩道。

○改善点：アクセスや利用施設の改善、ガマの繁殖や自然の管理と保全策。

◆2回目今後のあり方ワークショップ

○キャッチフレーズ案／「心地の良い大池公園」「命育む自然公園・大池」が2つのグループから出された。

○保全や改善課題／水と緑の魅力を守りながらガマ対策などバランスを崩さないように自然をうまく維持管理する。トイレや遊歩道など通年利用のための基盤を改善する。

○魅力向上の提案／眺望の良さを活かす観賞スポットの整備。子ども親子連れに安全で魅力的な施設整備。環境学習を含めた来園者サービス。サイン等案内施設の充実。広域のイベント等での来園者拡大。



■利用者の形態とニーズ

利用者の類型でニーズの違いを下表に整理した。

分類	ニーズ
現状満足層	●景観や自然環境の保全 ●機能性の改善→ベンチ・遊歩道
健康志向層	●やすらぐ環境→遊歩道・休憩施設
環境保全志向層	●環境向上→環境保全・水質改善
親子連れ利用層	●親子の滞在環境 →休憩施設(遊び場)
景観志向層	●景観改善→日本庭園の景観

■将来に向けた課題設定

アンケートやワークショップ等により、将来に向けた公園整備課題を下表に設定した。

テーマ	課題設定
整備の優先順	・利用要望の高い箇所の改善
利用の平準化	・滞在性の高い場所の改善
公園づくりの管理運営	・住民参加による公園づくり
公園の魅力を活かす	・社会実験による新たなニーズに対応した仮設的整備
利用プログラムと実践的な試行	・“季節、昼夜”の時間軸を入れた大池公園の景観開発型の整備

■整備コンセプトの設定

公園の将来へ向けた課題に「本町を代表する公園としての多様な利用者の拡大」をあげ、公園の魅力を最大限発揮できる新たなテーマづくりを検討する。

●大池公園の最大の魅力は水と緑と山並み景観

景観を魅力として発信している全国の好事例には「〇〇八景」と名付けられているものが多い。

したがって、大池公園の景観を町内外にアピールするため、大池公園の「八景」を設定し公園の魅力を、官民協働で掘り起こし、町民が愛で、誇れる場所にする。

- 1 景観＝松などの緑の景と池の景、山の景、開拓の歴史景などを最大の魅力とした「大池八景」を統一基盤とする
- 2 レクリエーション機能＝「大池八景」の魅力が脇に健康遊歩道、子ども達が遊び、見守る親や高齢者が憩う憩いの場を充実させる
- 3 アメニティ機能＝「大池八景」の眺めの心地良さを町民が来訪者に自慢し、誇りを発信できる場に育てる
- 4 コミュニティ機能＝「大池八景」を愛でる町民の交流の場とし、町民協働で花や木を育てたり、イベントを楽しんだりする実践の場を増やす
- 5 『水と緑の拠点』公園＝自然と景観の魅力を最大限発揮することで多様な利用者を拡大し、町を代表する「大池八景」公園を実現する

【整備コンセプト】

大池八景

～自然と景観の魅力が多様な利用者を拡大し、町を代表する水と緑の拠点を目指す～

■保全・整備方針の設定

コンセプトの各プロセスに応じた大池公園の保全と整備に関する方針を設定した。

プロセス要素	基本方針
1 景観 「大池八景」を統一基盤とする	【保全基本方針】 ①池の環境改善、②水辺植生の管理、③大賀ハスの再生、④湿生植物の管理、⑤アカマツ林の保全、⑥景勝松の保全、⑦植栽の管理 【整備基本方針】 ⑧中の島の修景、⑨解説サインの整備
2 レクリエーション機能 「大池八景」の憩いの場を充実させる	【整備基本方針】 ①遊歩道の補修、②サポート施設の整備、③展望台の活用、④新たな遊びの追加、⑤水辺遊びの促進、⑥親の居場所づくり、⑦水辺のシンボル改善
3 アメニティ機能 「大池八景」を町民が自慢し、誇りを発信できる場に育てる	【整備基本方針】 ①ベンチの改修・整備、②視点場の案内サイン整備、③案内・誘導サイン等の整備
4 コミュニティ機能 町民の交流、協働で楽しめる実践の場を増やす	【整備基本方針】 ①町民協働による植栽、②景観イベントの実施

■整備計画案

◆公園全体の整備内容

各施設の整備内容や公園全体としての環境保全の検討を行う。

【環境保全計画】

○公園全体を通してチョウ、トンボなどの貴重な昆虫の食草、食樹の保全・更新が必要。○動植物に配慮した除草などの維持管理

【ハード整備検討提案例】

- 快適一周ウォークロードの整備(改修・整備)。
- 大賀ハスの再生。
- 大池公園総合案内+案内看板の統一化。

【ソフト計画検討提案例】

○各景による景観イベント実験。○快適一周健康度チェックウォークイベント

◆ゾーン毎の整備内容

ゾーニングは大池八景を基本として12個設定する。

(1)一景 (大池眺望ゾーン)

茶臼岳の眺望と桜並木の視点場を活かし、眺める場所づくりを行う。



【環境保全計画】

- 大池の水辺に近づける護岸の親水環境を保全する。
- 眺めの雰囲気や視界を阻害するものを常設しない。

【ハード整備検討提案例】

○竹ポット活用によるアヤメなど岸辺の水生植物の植生復元。○園路際の眺望デッキなど。

【ソフト計画検討提案例】

○八景花見の会。○池に映る月を愛でる会など。

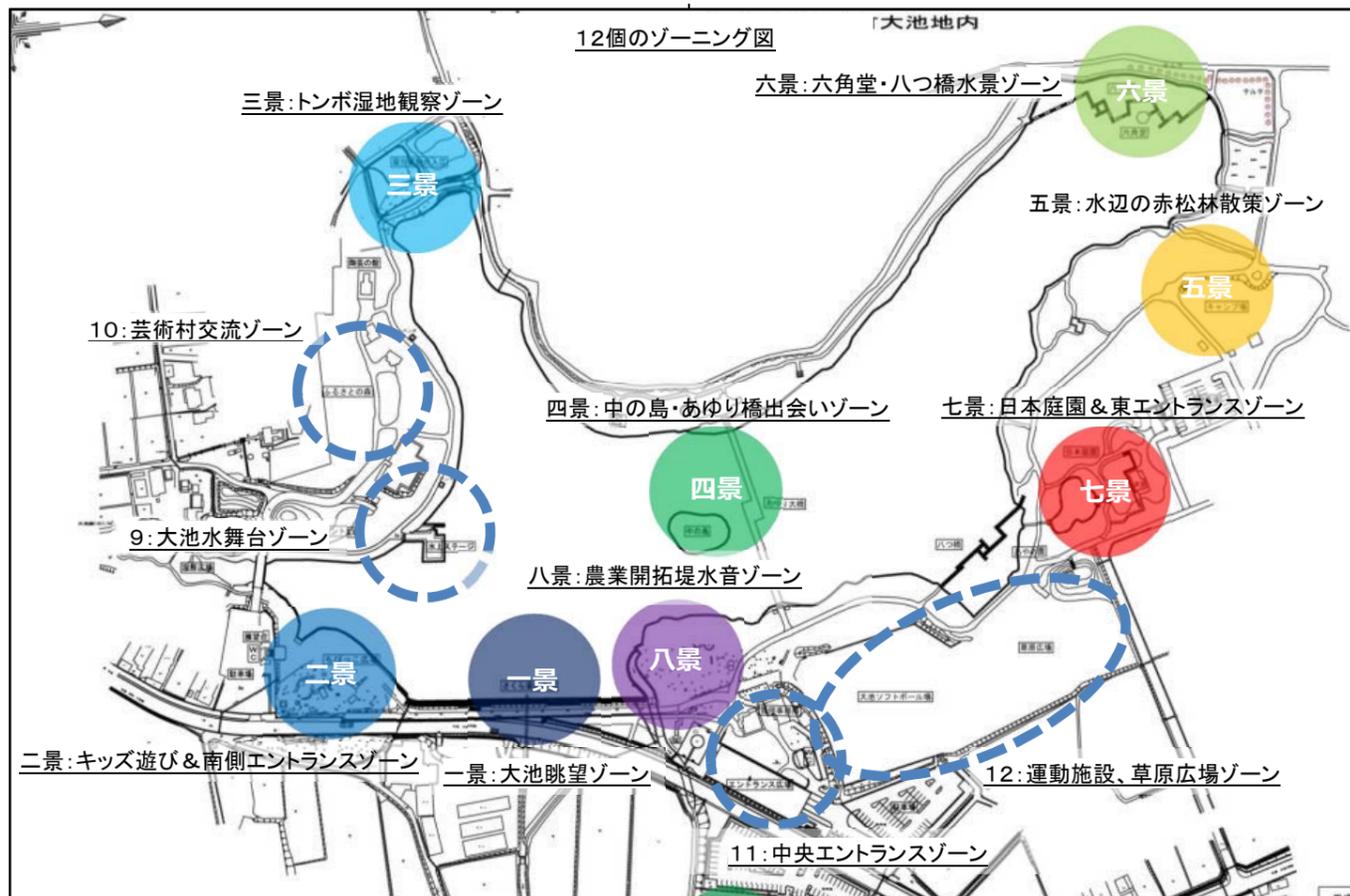
(2)二景 (キッズ遊び&南側エントランスゾーン)

ちびっこ広場や駐車場、トイレ、直売所のある立地を活かし、展望台を活かした親水テラスを整備する。また、林内環境を活かした子供連れ利用促進のための検討をする。



【環境保全計画】

○アカマツ林の保全、踏圧防止のために木チップなどを敷きならす。○子供たちには森の魅力が原風景として記憶されるようにする。



【ハード整備検討提案例】

- 伐採木や剪定枝の木チップ舗装。
- 親水テラス・ベンチ+パーゴラ(ブランコ型ベンチ)

【ソフト計画検討提案例】

○子供たちにマツボックリや松明などアカマツの魅力をガイドするなど。

(3)三景 (トンボ湿地観察ゾーン)

チョウトンボなどの観察が楽しめるゾーン。

そのために植生復活を進める(穴あき竹ポットの活用)。スマホで検索できるQRコード付きパネル設置を検討する。



【環境保全計画】

- トンボ池の生態的な多様性を保全するためのデータ収集
- トンボなどの食草、食樹の保全、更新。

【ハード整備検討提案例】

○トンボ湿地の環境学習パネル、湿性植物植栽など。

【ソフト計画検討提案例】

○トンボ環境学習会など。

(4)四景 (中の島・あゆり橋出会いゾーン)

大池の四方から眺められる景観。東西をつなぐ橋や中の島の景観改善を図る。



【環境保全計画】

- 水辺の水生植物などを復元し、魅力を保全する。
- 水辺の眺めで雰囲気や視界を阻害するものを常設しない。

【ハード整備検討提案例】

- 橋詰めビオトープや東屋前でのアヤメなどの植栽。
- 中の島に枝垂れ桜などを植栽。

【ソフト計画検討提案例】

○アヤメなど水生植物の植栽ボランティア募集。○景観イベント実験など。

(5)五景 (水辺のアカマツ林散策ゾーン)

数種類のアカマツからなる林が魅力。森林浴散策や森林環境学習、森の生態アートキャンプなどで楽しめる見通しの良い空間にする。



【環境保全計画】

- アカマツ林の保存のための基盤整備をおこなう
- 老木の選定と新しい個体への確保・更新をおこなう

【ハード整備検討提案例】

- 伐採木や剪定枝の木チップ舗装。
- アカマツ林の環境学習パネル設置。

【ソフト計画検討提案例】

○アヤメなど水生植物の植栽ボランティア募集。○景観アートイベント実験など。

(6)六景 (六角堂・八つ橋水景ゾーン)

スイレンの花々に浮かぶ六角堂と八つ橋の水景。八つ橋の中間地点にスイレンの花観賞を楽しめるデッキや六角堂に四季の絵になる景色を紹介するパネルの設置を検討する。



【環境保全計画】

- スイレンやカルガモなど水辺環境を保全する。
- 滞留しているため悪化している水質を改善する。
- 電車から池の景観が楽しめるようにするなど。

【ハード整備検討提案例】

○花観賞デッキ。○サクラ苗などの適正再配置など。

【ソフト計画検討提案例】

○景観イベント実験など。

(7)七景 (日本庭園&東エントランスゾーン)

大賀ハスを目玉にした庭園。利用拡大を図るために大賀ハスの増殖と四季の大賀ハス景観パネルの設置をする。また、茶室前から八つ橋までの俯瞰景、西岸からの景観の改善を検討する。



【環境保全計画】

○大賀ハスを増殖。

【ハード整備検討提案例】

○大賀ハスの増殖と保全のための環境整備。○茶室背後の住宅等の修景植栽。○大賀ハス景観パネルなど。

【ソフト計画検討提案例】

○大賀ハスの増殖の学習会とボランティア募集。○景観イベント実験

(8)八景（農業開拓堤水音ゾーン）

開拓の歴史発信。農業開拓の歴史は貯水池跡の石碑や形態跡の曲線堰と桜並木堤防が最も分かりやすい。大池八景案内+開拓歴史板を設置する。



【環境保全計画】

- 開拓の歴史を証明している堰や石碑など文化資源の環境を保全する。○眺めの雰囲気を阻害するものを常設しない

【ハード整備検討提案例】

- 開拓の歴史テラス付き東屋の設置。○大池八景案内板+開拓歴史板の設置。○流枝の景勝松の景観整備。○茶臼岳を遠望するベンチなど。

【ソフト計画検討提案例】

- 堰や石碑など開拓の歴史学習会の開催。○開拓の歴史ガイドの育成。○景観イベント実験など。

(9)大池水舞台ゾーン

桜並木堤からトンボ池までの東西軸景観と南駐車場から中島までの南北軸景観の交点にある水上ステージを八景のシンボルとする。水面を活かした舟や筏などの多様なイベントプログラム実験で検証し、安全に水辺利用や居心地の良い空間改善を検討する。もって大池のメイン景観を発信する。

【環境保全計画】

- 水辺の環境を改善し保全する。○眺めの雰囲気を阻害するものを常設しない。

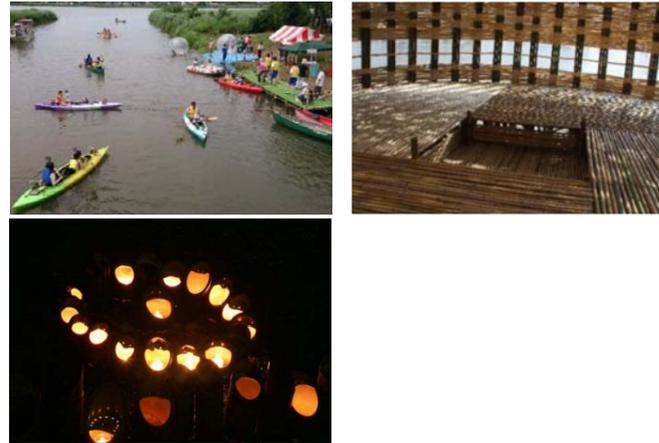
【ハード整備検討提案例】

- アヤメなど水辺の植生環境の整備（竹ポットの活用）。○水辺休憩ベンチ+八景テラス+カヌー棧橋。○サクラなどの再配置



【ソフト計画検討提案例】

- 景観イベント実験など。



事例写真 上左：舟体験／上右：竹東屋／下：竹灯ろう

(10)芸術村交流ゾーン

利用者アーティストグループの参加を促し、公園利用の進化を図る。

【環境保全計画】

- 森の雰囲気を阻害するものを常設しない。

【ハード整備検討提案例】

- 学生やアーティスト等の参加・交流協働プログラムでの公園づくりの試作など。

【ソフト計画検討提案例】

- 景観イベント実験など。

(11)中央エントランスゾーン

公園のメインエントランスになるゲート。現在の不鮮明なメインルート改良として出入り口のゲート整備を検討する。ゲートにはシンボルの赤松やストレッチ体操のできる芝広場・ベンチ、子ども達の好きなドングリの森整備などゾーン内の改良を検討する。



【環境保全計画】

- アカマツ林の環境を保全する植栽をおこなう。○中央口として分かりやすくするため景観整備を行う。

【ハード整備検討提案例】

- エントランスゲートやメインロード、ゲート並木など中央口を整備する。○ゲートサークル。○ゲートシンボルアカマツ。○快適一周ウォークロード・起終点広場。○アカマツ林を保護する樹林帯としてドングリの森の整備。○大池公園総合案内+大池八景案内板(QR付き)。○健康度チェック情報版(QR付き)など。

【ソフト計画検討提案例】

- 快適一周健康度チェックウォークイベント。○ドングリの森は子供たちの実のなる木の体験学習に活用する。○八景イベントなどでのフラッグ設置でPRなど。

(12)運動施設ゾーン&草原広場ゾーン

照明付きのソフトボール場と大きな多目的広場。今後の利用見通しや他の施設整備計画などを踏まえて土地利用を検討する。



【環境保全計画】

- 他の生態系への影響させない植栽計画・整備計画

【ハード整備検討提案例】

- ちびっ子の遊び場の集約および充実。○ドックラン。○芝広場・ベンチ（イベントの休憩広場を兼ねる）。○ソフトボール場の更新。○その他運動施設の整備。

【ソフト計画検討提案例】

- 充実した遊び場のPR。○中央エントランスゾーンと併せたイベントの開催。○ソフトボール場の利用に対するPR。○新たな運動施設の利用による収益検討、大会の開催。

■整備・管理・活用の整備工程計画

使い手（利用者）、守り手（管理者）、造り手（設計者・施工者）の相互理解・連携協働により良い公園づくりを、育てながら使いながら改修しながら、という整備～管理～活用を一体化させた新しい手法での公園づくりを官民協働で行う。



使い手、造り手、守り手がそれぞれの立場を超えて公園に関わる。お互いに交流しながら、使い手が造ったり、管理したりと、成長する公園にしていくことが望ましい。その中で造り方、使い方、守り方の進化を図り、人材を育て、資金や技術を含めた仕組みを育てる。地域に愛される独自の公園文化を確立する。

区分	整備・育成・事業メニュー	短期3年	中期5年	長期10年
整備	1. 快適一周ウォークロード	→		
	2. 八景テラス・ベンチ	→		
	3. 親水テラス・バーゴラ	→		
	4. 住宅等の修景植栽	→		
	5. 開拓の歴史テラス・東屋	→		
	6. 質ハスの繁殖植栽	→		
	7. 景勝松の景観整備	→		
	8. 実のなる木植栽	→		
	9. 湿生植物植栽	→	→	
	10. 八景公園ガイド	→	→	
	11. 環境学習パネ	→	→	
管理	1. 大賀ハスの繁殖植栽	→		
	2. ヨシやガマの抜根処理	→		
	3. 樹木の整理・再配置	→		
	4. 公園管理・手直し	→		
	5. 管理台帳整備・更新	→		
活用	1. 命名版の設置イベント	→		
	2. 景勝松の持続的な修景	→		
	3. 四季の花植栽帯の拡大	→		
	4. 健康度チェック情報版	→		
	5. 仮設アートイベント実験	→		
	6. 交流協働プログラムでの公園試作	→		
	7. 利用者参加の手直し	→		
	8. 大学生のプログラムによる組織化へのイベント実施	→		

■整備参加のステップアップイメージ

町民や公園利用者の整備参加によるハード、ソフトの成長をステップアップイメージとして示した。

対象層	ねらい	ステップアップイメージ
リピーター層	公園管理運営の人材化	1. 既存の定期的なイベントでインタビューワークショップゲームを導入。 2. 楽しい交流イベント参加で動機づけをする。
一般参加層	公園利用ニーズのモニター化	3. 消防団レスキュー体験セミナーなど学習会を開催。
協力可能な層	利用者の危機へのサポート	4. 花植えや公園改修整備をイベントで実践体験。 5. 定期的な参加を促すプログラムで可能な協力支援を引き出す。

■大学等との連携

大学の関わり方の想定を下表に整理した。大学の関わり方は、授業やグループ研究、学生個人の研究、大学への委託研究など立場の違いでさまざまな連携の可能性がある。

調査・指導項目	大学等
① 造園的な樹木や植物の調査指導	・大学の造園実習講義での学習現場としての活用
② ヨシやガマなどの対策に関する調査指導	・事例での比較研究としての対応 ・里型管理手法の研究
③ 大賀ハスに関する調査指導	・大学の他農業高校でも可能
④ 大池の水質改善に関する調査指導	・大池の水質改善を専門研究者が指導・地元農家、土木企業 ・水質改善企業の協力
⑤ 現地での実験ワークショップ指導	・大学の造園、建築景観研究室・造園会社、コンサルタント
⑥ 模型等での検討ワークショップ指導	・大学の造園、建築景観研究室・造園会社、コンサルタント
⑦ 植栽や配植見直しのワークショップ指導	・大学、コンサルタント ・地元造園会社
⑧ 現地でインсталレーションワークショップ指導	・大学、コンサルタント及びサポーター
⑨ 公園管理実技ワークショップ指導	・大学の造園実習講義での学習現場としての活用
⑩ 現地での食交流・イベント等の研究発表	・大学や農業高校の農業実習講義の現場としての活用